

## IM 第2組 ロータリーデー 報告

千里メイプルRC 会長

**松田 親男**

ロータリー・デー実行委員長

**黒川 彰夫**

(千里メイプルRC)

ホストクラブ：千里メイプルRC

日時：2016年2月27日(土) 14:30～16:30

場所：ホテル阪急エキスポパーク オービットホール

参加人数：260名

テーマ：Be a gift to the world

ラオスへ・福島へ

講演テーマ・講師：

ラオス農村地帯における学校衛生支援

山本加奈子氏

トークと歌で送る「今、福島からのメッセージ」

阿部光裕住職・AVE氏

本年度のロータリーデーは上記の2部構成で講演と歌をお届けしました。私たちのクラブで実施している国際奉仕活動、社会奉仕活動の一端を紹介するとともに、今一度、これらの活動の原点を見つめなおして、皆さんと一緒に奉仕活動を考えることができると言う思いで実施に至りました。ラオス農村部はトイレの設備が十分でなく手洗

いの習慣もないので、子供達には寄生虫が蔓延しています。駆虫薬の配布・手洗教育等の支援活動を紹介いただきました。活動については、現地を知る、良きパートナーを見つける、現地の資源を活用する、直接的な裨益、継続可能性の5つが大切な判断基準であること、継続可能性については一部の自助努力に止めること及び教育の必要性を体験に基づいてお話いただきました。

阿部光裕住職は福島市常円寺住職で、震災直後から除染ボランティアに励んでおられます。AVE氏は福島市出身、地元福島を拠点に全国各地でもライブ活動を展開しておられます。震災直後、放射能について何も情報が無い中で手探りの復旧活動や除染活動、いち早く除染土仮置場をお寺の境内に開放されたお話、震災を経験した子供達だからこそ逞しく強く育てて社会に寄与してもらいたいという思いで始められた「福島学びのネットワーク」の活動も紹介いただきました。

奉仕活動について国際奉仕、社会奉仕、二つの切り口からのお話でしたが、現場のニーズに適合した奉仕でない役に立たないし、自立も育たないということが実感できました。

最後に、IM2組ロータリーデー開催に当たり、丁寧なご指導を頂きました立野ガバナー及び新井ガバナー補佐に感謝申し上げますとともに、閉会点鐘まで熱心に聴講いただきました多数のロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。

